



## 隊友会状況開始 27 JXRにおける隊友会との連携訓練

東京地本（本部長 竹本竜司陸将補）は、平成27年6月29日、27 JXRにおいて実施された災害情報伝達訓練の枠組みを活用し、公益社団法人隊友会東京都隊友会（会長 直海康寛氏）との連携訓練を実施した。

本訓練は、平成24年3月16日に東京都隊友会と東京地本との間で締結された「大規模震災発生における公益社団法人隊友会東京都隊友会の自衛隊東京地方協力本部に対する協力に関する協定」に基づき、連携の強化と災害対処能力の向上を目的としている。

訓練当日は、地本本部から隊友会会員の携帯電話へ「午前10時13分、東京都23区震度7」を一斉にメール送信して状況が開始された。平日にも関わらず22名の隊友会会員から、それぞれの所在する地域において撮影された周辺の道路や橋梁の状況等24件の情報を受信した。提供された情報は速やかに地本本部から方面総監部に報告され、発災当初における被害情報等収集に寄与する事が出来た。

参加した隊友会会員からは、「非常に有意義な訓練であり、機会があればまた参加したい。OBとしてこのような形で自衛隊に貢献出来て嬉しい。」とご意見を多数頂いた。

東京地本は今後もこのような機会を捉え、相互の連携強化を図り、防衛基盤の醸成を図っていくとしている。



笹目通り（撮影：道面氏）



新船堀橋（撮影：岩川氏）

## 首都直下型地震における連携強化へ 27 JXRにおける研修支援

東京地本（本部長 竹本竜司陸将補）は、平成27年6月30日から7月2日までの間、東部方面総監部で実施された27 JXR部外者研修の場を活用し、東京大学中尾政之教授及び自治体防災担当職員等約140名に対して、自衛隊の災害対処能力の理解と防災意識の高揚及び防災監への退職自衛官雇用の促進を行った。

本研修では、担当者から指揮所演習の概要についての説明や演習施設等の研修を行った。中尾教授への研修では、各演習施設において本部長自ら状況を説明する場面や、機械工学系研究者ならではの視点から担当者に対して鋭い質問を投げかけるなど、活発な意見交換が行われた。研修終了後には「大変有意義な研修で非常に感謝しています。」との言葉を頂いた。

一方、自治体防災担当職員等への研修では、事前のブリーフィングにおいて援護課長から防災監に関する説明を行い、施設研修の場では各所長が本訓練に関する補足説明を実施するなど援護課と地区隊が一丸となって、きめ細やかな対応を行った。

参加者は、熱心にメモを取ったり、度々質問を投げかけながら、自衛隊のノウハウを吸収しようとする姿が見受けられ、災害に対する自治体の関心の高さを伺うことが出来た。

参加者からは「災害時における自衛隊の情報収集活動や指揮幕僚活動等、大変参考になった。このような機会があればまた是非参加したい。」等の声を多く頂いた。

東京地本は今後もこのような機会を捉え、常在戦場・任務完遂をモットーに、関係機関との連携強化を図っていくとしている。



調整所長から説明を受ける  
東大中尾教授（左から4人目）



事前ブリーフィング